

2012年度一般社団法人日本石材産業協会 第2回理事会

日 時：2012年11月28日(水) 10:30~17:00
場 所：連合会館 201 進行役：中江専務

議事録

I. 開 会

II. 会長挨拶：射場会長

だまし絵は見方によって違うもの。『老婆と少女』のように自分が見ようとしているものしか見えないからそれが成立する。弘法大師の座右の銘「己の長を説くことなかれ他人の短を言うことなかれ」とは自分の長所をひけらかすな、他人の短所を口にするなという意味。我々凡人はもっと心すべきと考える。

常日頃おもうこと、唯一正しい形はなく常により良い形があるだけ。個性をぶつけるのではなく、輝かせることで周りを照らすそんな石産協、より良い石産協をみなさんと作り上げていきたい。

進行役：中江専務

議長選出：太田元副会長

III. 議 事

1. 定足数確認：出欠表にて確認
2. 議事録署名人の指名：犬塚副会長・斎藤監事 議事録作成：事務局・長島
3. 資料及び議案の確認、新議題の採択：岩崎支部長報告あり(資料なし)
4. 前回議事録の承認：2012年度第2回常任理事会及び第1回理事会 議事録参照
5. 第2回常任理事会、第5・6回正副会長会議：承認議案について議事録参照

■ 審議事項 ■

1. 入退会者について：事務局

中江専務／審議資料 P1

- (1) 入会者7名：全会可決承認
- (2) 退会者4名：異議なし自動承認

2. 各事業報告等について

(1) 【北海道地区】幸フクロウ運動

赤川支部長・越智地区長／審議資料 P7

決算書の『会議費』差異が計算違い⇒正しい資料を差し替え配布

全会可決承認

(2) 【公共石材工事・北陸地区】公共石材工事受注研究会・地区会連絡会議

石本地区長／審議資料 P7

全会可決承認

3. 各事業計画について

(1) 【年次大会】年次大会 2013 における常設展示

戸高委員長／審議資料 P13

柴田：常設展示収入はなく、本会計から70万円の予算がついているが、財務情勢はどうか。

川本：予算に問題はない。これまで出店業者負担だったところを受益者負担とすると高額になってしまうので年次大会会計へ本会計から振り替える。

望月：年次大会は総会も合同で行われるため、来年度予算を作成する際、さらに検討。

会長：大多数の出席者が小売店かもしれないが輸入・建築・加工・採石・関連の業種の方にはどのようなメリットがあるか委員会の考えを。

戸高：大会テーマの中に盛り込んでいとおり説明。

長江：講師について詳しく説明を。

戸高：前年度と同じ予算を計上しているが、詳しい講師は未定。

友常：部会としては全面的に協力するが、具体的なことが決まっているのか。

小柴：常設展示がなくなり、成功するためには参加者増加が必須。各支部の研修事業として役立つワークショップがあれば参加が期待できると思う。

戸高：後退したと思われぬ充実した内容のワークショップを今後具体的に考えていきたい。

議長：委員会、部会、支部からも要望を委員会に投げ、具体化してください。

全会可決承認

(2) 【広報委員会】石産協通信発行について

上野委員長／審議資料 P16

上野：承認が得られ、広報で石産協通信を発行することになった場合は会員の皆様へ取材をするので、取材拒否しないでいただきたい。その前提で広報が引き受け、予算を使って作成する。また、支部・協会の活動を知らせるツールとしてこのメディアを会員が利用・活用してもらいたい。

川本：この趣旨を伝えるため、一人でも多く会員に参加していただけるよう委員会を全国で開催中。

加納：広報誌は必要、予算立ててぜひ作成してほしい。しかし見積書から、消費税は別途かかるので予算に計上してください。⇒予算書訂正差し替え

上野：将来的にはペーパーレスを目指していきたいので来年度に関しては改めて審議をお願いします。

全会可決承認

(3) 【お墓ディレクター】お墓ディレクター1級取得者研修会について

中村委員長(追加資料)

全会可決承認

〈その他〉

(1) 正副会長交通費規約について

中江専務／審議資料 P19

全会可決承認 本日をもって適用とする。

(2) (経産省から)石材の出荷基準等業界基準作成のお願い

中江専務／審議資料 P21

12月27日に1回限りの会議を行う。石産協としては射場・望月・中江の3名で参加。

藤原：経産省が人選し石材業の基準を作るのに出席者の交通費を我々協会が負担するのはおかしい。

中江：放射能の影響で出荷できずにいる石産協会員からの申し出で飯館村からあがった。石産協主体で内容を作成し、経産省がバックアップする形。

柴田：基準を発表後、スポークスマンを決め対応した方がよい。

二上：石材のな^にに^にの出荷基準を決めるのか、また出席者の交通費の予算書を提出するべき。

中江：捨て石に関する放射線量の基準を決める委員会。予算書は作成します。

友常：茨城県も捨て石を扱っているが茨城県には影響ないのか。

中江：今回は「飯館村」の「捨て石」に限る。

望月：経産省に意見を求められたのは良いこと。福島に基準ができれば全国的にも広がるかもしれない。

全会可決承認

■経済産業省日用品室から補足説明（吉田）

以前二本松市のマンションの建築資材の砂利が放射能に汚染されていることがわかり、大変な騒ぎになったため基準を作ったが、そのときと同じ対応はしなくなかった。この度、居住制限区域の中で事業を再開するにあたっては町や村が定める事業の範囲で許可する制度ができた。石材業からも事業再開の申請があり厚生労働省からは山で働くことは問題がないとの回答が出たが、原子力対策本部から出荷する際の問題がないのかと質問があった。もともと石材に関しては問題がなかったのに国が基準を作ることで風評被害を招くことを心配し、業界が自主基準を作成することで誤解を回避したいと思っている。但し、業界側からの意見だけでなく、有識者の参加と経産省がオブザーバー参加し、バランスのとれた基準を作成していただきたい。

上野：基準を作った場合、今後マスコミの対応、一般市民や他団体にはどのように告知したらよいのか。

問合せに答えるマニュアルのようなものができるのか。広報で簡単に受けられる問題ではない。

経産省：主催はあくまで業界という構えなので積極的に経産省のホームページにアップすることはない。

対応の仕方などは会議の中で検討する。

白木：業界だけでは効果がない。経産省のお墨付きでないと意味がない。

石本：経産省のホームページに是非載せてほしい。

経産省：居住制限区域限定の基準を作る。問題の発生していない区域については事を荒立てるようなことになるので行わない。石産協のホームページで配信するのは構わないが、経産省は石材業だけを優遇するような対応で公表することはない。

井口：砂利の業界を発表した後の対応を参考までに教えてほしい。

長江：会議にはオブザーバー参加が認められるのか。

経産省：OK

■■協議事項■■

【東北地区】全体会議について

菊地地区長／協議資料 P1

開催日時場所が変わる可能性があるため、次回の常任理事会で改めて提出。開催内容などについては議案書の通り。

【広報委員会】クリッピングサービスの活用について

上野委員長／協議資料 P3

業者との契約期間中の活用方法・・・メール配信していく。

川本：有料で配信していた時の申込件数が少なく、費用対効果を考えると契約停止の意見もあったが協会として継続していくべきことと考えている。6月以降も改めて継続できるよう、活用できる方法を検討。

〈その他〉

協議資料 P6

(1) 臨時総会開催の必要性について

(2) 役員選定に関する規則訂正について（定款ではなく規則なので理事会で変更ができる。）

(3) 役員候補者推薦委員会委員削減について

戸部法律顧問：従来は2年に一度11月頃に行っていた。審議事項として新役員予定者選出を図り、総会で決めていた。現在の社団法人法に基づくと、理事が総会で選出され、その中で理事会を開き役員が互選される。次年度の役員そのものについては6月の定時総会で選出することになる。前倒しで役員候補者を定めることは事実上いくつか意味があるかもしれないが、法律上では不要。他団体でもほぼないと思われる。

加納：臨時総会は必要に応じ臨時に召集するものなので特に審議の必要はないのではないかと。

川本：これまで行っていたことを報告せずに行わないより、改めて理解していただくために上程した。

犬塚：理事だけでなく監事も明確化したほうが良い。

議長：臨時総会を開催しないことで進めていく。本日の意見を参考にさらに検討し審議上程してください。

IV. 報告・依頼・確認事項

〈地区・支部より〉

資料なし

1. 【岡山県支部】活動報告

藤原支部長

2. 【山形県支部】活動報告

岩崎支部長

『エンディングノート』上映し、全国お墓なんでも相談室を行う。そのイベント名称を「ハッピーエンドフェスタ in 米沢」としたが、同じ名称で活動している神奈川県支部会員から山形県だけに使用をとどめてほしい。神奈川県支部以外の地区では使用しないしてほしい。

議長：専務から神奈川県支部に確認を求める。

〈部会より〉

報告資料 P1

1. 【採石・原石、加工】合同部会開催について

友常部会長

主に南北関東の支部のかたにもぜひ参加していただきたい。小売店、会員従業員、非会員でも参加可能。日程は決定。この場を借りて地区・支部長に一人でも多くの参加者の協力を求めます。

2. 【輸入卸商】日中墓石（技術）交流会について

熊野部会長

尖閣諸島問題でデモなど、治安の悪化している中、中国側の友好的対応で安全に行われた。今後も共有共存できるような内容で継続していきたい。

〈委員会より〉

報告資料 P4

1. 【お墓ディレクター】第10回お墓ディレクター検定試験について

中村委員長

2. 【お墓ディレクター】お墓D試験対策勉強会について

中村委員長

検定試験の締切りが迫っているので受験希望の方はお急ぎを。勉強会も若干の空席があるので早めの申し込みを。事業の決算報告は改めて行う。第11回の検定試験については委員会でまとめた内容を次回上程したいと考えている。また、北海道支部では会員非会員問わず、ディレクターの勉強会が行われているとのこと。今後は各支部との連携をもって情報交換していきたい。

3. 【広報委員会】ニュースリリース結果について

上野委員長

9月に支部長にお願いしたニュースリリースについてはご協力いただいたことに感謝。費用対効果をまとめたが広報委員会では、1千万円目標としている。今後はお墓ディレクターとお墓相談室についてリリースしていきたい。リリース原稿を作成したので支部活動にぜひ活用してほしい。掲載されることで信頼性も知名度も上がる。東京でいくら発信しても地域に根付いた広報はできないので各地で委員会を開催し、支部とのコミュニケーションを太いものにしていきたい。

4. 【広報委員会】ミュージカル『ブッダ』後援について

上野委員長

資料の通り

5. 【次世代育成ネットワーク委員会】

大川委員長

12月6・7日に青年石材人向け研修会を行う。案内は発送済、是非ご参加を。また、現在把握している26団体だが、なかなか情報がいきわたらないのでイベントの際は、積極的に地元組合にPRをお願いしたい。

〈事務局より〉

報告資料 P14 及び補足

(1) 会費未納者について（納入状況）

(2) 入会申込書について⇒次回から変更

(3) 仏教の未来に挑戦する情報誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に協賛

(4) 主な会議日程表⇒あわせて石産協カレンダーをwebで確認。また、各地で行われる支部会などはwebカレンダーに掲載するため事務局に日程の連絡を。

(5) 後任専務理事⇒現在、正副で検討していることを報告。

(6) 理事交通費申請書は下期の理事会が終了した時点で提出を。

(7) 石産協の活動として地方紙などに取り上げられた記事は事務局にも報告。

■■ 〈その他〉 ■■

【国際関係委員会】三和委員長 昨日（11/27）委員会・建築環境部会の合同会議を開催。社員不足（特に職人と若手）問題などが課題。来年3月の厦門SFについて、去る7月の山東省SFのように行いたいと考えている。次回は1月に国際関係委員会・建築環境部会の合同会議を行う予定。

【広報委員会】上野委員長 ホームページリニューアルを検討している。ホームページ作成に知識のある人材を募集したい。自薦他薦問わない、この場を借りて協力お願いします。

【社会調査委員会】柴田委員長 今年度も少ない予算の中、支部の協力をいただき全国お墓なんでも相談室が盛況に進んでいることに感謝。「全国お墓なんでも相談室」のあり方を地区長支部長と話し合う場を持ちたいと考えている。

【次世代育成ネットワーク委員会】大川委員長 青年部長連絡会議は石産協非会員も参加できる唯一の委員会イベント。ネットワークを広げ、会員拡大や若手育成のためにぜひ参加してほしい。また、来年の年次大会でも若手向けワークショップを考えている。地元の若手にお声掛けを。

【お墓ディレクター委員会】中村委員長 勉強会、試験、研修など事業が目白押し。11回の検定試験については委員会で検討しており、次回上程する予定。1級バッジを付けてディレクターを広めてほしい。

【年次大会 2013 実行委員会】戸高委員長 一人でも多くの方に興味をもってもらい、参加して良かったと思われる年次大会を目指したい。

【研修委員会】山口兼任委員長 お墓物語2を作りたい。また、お墓ディレクター1級取得者更新の研修

会の内容を検討中。

【墓石部会】森田部会長

取扱説明書と契約書が頓挫しているため再開と、新しいこと考えているところ。最大の難点は部会員の認識がなく最も集まりの悪い部会。部会の浸透のためにもご協力お願いします。

【輸入卸商部会】熊野部会長 次回の交流会は三和委員長とも話し合って決める。業界向けDVDは修正検討中。

【採石・原石部会】友常部会長 真鶴での部会には是非参加してください。

【北海道地区】越智地区長 幸フクロウ事業も終了。支部として東北支援を考えている。

【東北地区】菊池地区長 特にない。

【北陸地区】石本地区長 北陸地区は元気がない。地方から出席したいと思わせるアイデアあるイベントを考えてほしい。

【四国地区】岡本地区長 10月15日四国支部長連絡会議を行った。広報委員会からのニュースリリースがきっかけで徳島・高知が大きく成果を得られた。今後も大きな共通の意識をもって活動に取り組みたい。

【中国地区】岸本地区長 中国四国地全体会議、大盛況で無事終了。ご参加いただきありがとうございます。10月26日に支部長会議を行った。支部運営、会員拡大支部活動をすることで地域に認めていただくなど方向性をすり合わせていく。

【九州・沖縄地区】山野地区長 来年度、九州・沖縄地区全体会議を検討中。

【北海道支部長】赤川支部長 幸フクロウ終了。今回はお墓相談室3月に予定、ほぼ決定。通行量の多いところで不特定多数をターゲットで行いたいと考えた。また、北海道は広域のため札幌ばかりでなく各地への広がりも考えている。ホームページを使った広報のほか、支部新聞を作り会員に配布している。

【山形県】岩崎支部長 12月9日(日)に映画「エンディングノート」を上映+相談室開催予定。山形新聞や米沢市の広報など各誌に掲載された。

【栃木県】白井支部長 独自の事業は特にしていないが、各部会や協会活動に誘い合わせて参加することからスタートしたい。真鶴研修には声をかけ、是非参加したい。

【山梨県】望月支部長 「散骨はすべきではない」という本を自主出版した地元の考古学者でもある住職の講演会を一般の方も含め行う。マスコミに取り上げられることで現代の主流と思われがちな散骨、樹木葬だが、これまでやってきた墓石の大切さをこういった場で訴えていきたい。また、共に勉強していきたい。プレスリリースは反応を疑ったが、掲載されただけでなく、つながりが持てたので行ってみてよかった。

【京都府】新谷支部長 7月14日近畿地区全体会議を開催予定。鴨川の河川敷で石屋だらけの大運動会、行政を巻き込んだ若手の僧侶サミットなど、アイデアは良かったがボツになってしまった。いま、お墓の県民ショーを企画。次回上程。

【滋賀県】岡島支部長 先月研修旅行で宮城県石巻市へ行った。石産協の復興支援に参加できなかった会員も、今回西光寺の住職のお話を聞くことができ内容の濃い研修になった。今後はお墓相談室を実施したいと考えている。

【長崎県】金子支部長 九州全体会議開催に向けて支部での協力体制を作っていく。会費未納者に折衝中。

【大分県】玉田支部長 先般行われた中国四国全体会議に支部からも参加し、来年開催予定の九州沖縄全体会議の参考にした。支部では12月8日に集合し、九州沖縄全体会の実行委員から説明を受け、支部交流を図る予定。

【広島県】今野支部長 中国四国全体会議を行った。『失敗』をテーマにディスカッション。山口と広島が中心となって開催したが、支部間の交流にもなったので、今後も合同で支部活動を企画していきたい。

【鳥取県】井原支部長 2000年にうけた西部地震の恩返しの気持ちで石巻復興支援に参加した。参加者それぞれが感じた気持ちは報告会を設け参加できなかったメンバーに生の声を届けることができた。それは大きな経験で、素晴らしい事業だった。12/22鳥取県教育委員会文化財課から講師を招き県内の石像物を見学する研修会を行う。近隣の方の参加も受付中。

【兵庫県】能島支部長 なかなか参加できない会員の参加意義があるような支部費の使途を協議している。北海道の幸フクロウ運動、非常に参考になった。

【福岡県】片桐支部長 来年11月九州沖縄全体会議『九州はひとつ』のスローガンをもとに進んでいく。

【高知県】寺尾支部長 高知県ではみなし墓地、無許可がある。墓理法が改正されたこの機会に、行政や愛媛大学の教授を招き講演をしてもらい、改めて墓理法の勉強会をしたいと思っている。いずれは会員だけでなく行政や消費者にも認められるような門徒を開いたものなればと考えている。

【徳島県】笠井支部長 全国お墓なんでも相談室とディレクターについてニュースリリースをしつこく持って行ったところ、新聞とラジオ放送で取り上げられた。しかし、初の相談室では会社名、相談員名を明かしてはいけないというルールのため、購入希望の方に適切なご案内ができず困った。

【香川】坂本支部長 退会が後を絶たない。新規も難しいので退会のない魅力ある事業を目指したい。2月に古い石像物を見学する研修を京都にて計画。

【島根県】加納支部長 支部独自の主催はないが、支部の研修活動として石巻復興支援や中国四国全体会議に参加。石産協のネットワークを使って技能士会支部設立を目指す。5名以上で設立すると技能検定の開催権限がいただけるため。会員拡大にもつなげていきたい。

【大阪府】村上支部長 お墓相談会は次回に。次世代に向けたお墓の啓もう活動を月1回の役員会で議論中。講師を招き1月24日支部内勉強会を開催。

【顧問】鳴本 散骨や樹木葬はマスコミが大きく取り上げることによって消費者の心を動かしている。長く続いた日本の伝統としている墓地墓石離れを危惧している。協会としても重大に考えなければならないこと。地道にお墓参りをしようという啓蒙活動はしているが政治力を使うことで大きく動く。地元の代議士にはたらきかけることも影響する。選挙活動のこの機会にぜひ活動してみてください。

【顧問】吉岡 埼玉は所沢市の航空公園で技能士会と青年部のコラボでお墓相談室を開催。前南関東地区担当副会長の立場で苦言を呈したい…会議も終盤ではあるがこの場に残っているのは西日本の地区長支部長ばかり。関東地区は2人しか残っていないではないか。前日に支部長会議があったとはいえ責任ある立場なら最後まで出席していただきたい。

【地区担当副会長】井口功 和歌山にて1月に正副会長会議を行う。和歌山の会員に参加を呼びかけ、支部設立に一步近づけたい。

【地区担当副会長】白木 3月まで中四国九州沖縄も担当することになった。前日の支部長会議の報告・・・①何もしなければ寄ってこない支部内交流を活発にしよう。②地区全体会議について。③全国お墓相談室の在り方については柴田委員長とも見解を統一していきたい。④支部ホームページの改定はすぐに進められないのでまずはアクセス数を増やす方法として会員独自のHPに石産協バナーを活用いただく。

【委員会担当副会長】福川 新フェア実行委員会：名称を変更したいと思っている。実行委員メンバーを募集中、墓石部会や各委員会と連携していきたい。

市場創造委員会：手ごたえのある委員会が発足できた。付加価値の高い新商品を発表したい。

【部会担当】太田 部会や委員会の活動のメリットのひとつは情報の入手や共有化もできるのでぜひ、参加してください。

【渉外担当】伯井 衆議院選挙後に今後のことを検討する。

井口直前 震災対策本部長として6月の支援には120名強の方々にご協力いただきありがとうございました。渉外活動について、行政からの信頼も受けているので押すべきところは押し、伯井氏とともに業界のために活動していきたい。

【法律顧問】戸部先生

石産協の活動を通し、敬服しております。一人の人間として何らかのお役にたてればと思っています。

V. 監事講評

村田監事 意義のある会議だった。理事は責任をもって1200人の会員を考えた会議運営をしてほしい。何を求めて協会員になっているのか、情報は大切。

斎藤監事 地元山形県支部のお墓相談室に協力し、成功させたい。

VI. 閉会

[途中、追加・差し替え資料配布。決算書、予算書及び前回議事録確認してください。]

2012年11月28日

議事録署名人：副会長 犬塚克明 ㊟

議事録署名人：監事 斎藤勝実 ㊟

議長：副会長 太田 元

議事録作成人：事務局

常任理事・理事 84名中 出席59名 欠席25名

監事 3名中 出席2名 欠席1名

顧問・事務局 7名出席

合計：68名出席